

豊かな自然が宝物 みんなて紡ぐ結の町

さらに、トップアスリートが施設を利用することで、JATCOの知名度が上がり、世界中から注目される施設になることを期待してやみません。

また、昨年10月に行われたプロ野球ドラフト会議では、西迫集落出身の「浜屋将太さん」が埼玉西武ライオンズから2位指名を受け、大崎町から6人目のプロ野球選手が誕生いたしました。現役では、阪神タイガースの福留孝介選手、広島東洋カープの松山竜平選手、埼玉西武ライオンズの榎田大樹投手に継ぐ4人目で、埼玉西武ライオンズ赤田将吾打撃コーチ及び東京読売ジャイアンツの内田強スカウトとともに、球界での大崎町出身者の今後益々のご活躍と、伝統ある環境が次の世代にも引き継がれることを期待しております。

治体の中で「SDGs未来都市」にも選定されたところでございます。こうした大崎町の素晴らしい環境を町内外に発信するとともに、一人暮らしの高齢者や町内に住む外国人の方々への配慮を強化し、誰一人取り残すことのないような環境づくりを行ってまいります。

次に、「産業」についてでございます。平成29年全国市町村別農業算出額のランキングにおいて、大崎町は全国22位(町村では2位)というすばらしい結果となりました。これは「プロイラー」「野菜」「肉用牛」をはじめとする生産者・加工業者など、皆様方のご努力の賜物でございます。

こういった本町の魅力ある地域産業資源を県内外に広くPRするため、平成27年度から本格的に事業を進めてまいりました「ふるさと納税事業」が進化し、昨年6月には、ふるさと納税事業に参加する事業者が「ONE TEAM(ワンチーム)」となり、「大崎町ふるさと特産品振興事業協同組合」を設立いたしました。これにより町内の事業者が、ともに手を取り合い、共同販売や商品開発等を行い、組合員全体の資質の向上を図るこ

とで、「大崎町」というブランド確立への環境づくりを整備し、日本の食料供給基地として、ますます魅力ある産地づくりに取り組んでまいります。

さて、新元号の「令和」には、「一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」との願いが込められております。希望に満ちあふれた新しい時代を、町民の皆様と切り拓いていくべく、大崎町が有する魅力あふれる資源を最大限に活かし、「二隅を照らす」資源循環型の環境づくりに取り組み、さらなる町政発展のため、誠心誠意努力してまいりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう祈念申し上げます。

「知恵の環

人の環

資源の環

令和2年1月

大崎町長 東 靖弘



▶昨年6月に誕生した「大崎町ふるさと特産品振興事業協同組合」の設立総会の様子



▶指名報告会で役場を表敬訪問した、大崎町6人目のプロ野球選手の浜屋将太選手。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

▶SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略称。2015年に国連で採択された貧困、飢餓、不平等など17課題を解決するための目標のこと